

2027年5月期 (第41期)

第1 四半期

決算説明会

2026.10.8 (木)



1 2027年5月期(第41期) 第1四半期決算概要

- ・業績サマリー
- ・粗利率改善の背景
- ・Domain (事業) 別 売上&詳細

2 2027年5月期(第41期) 通期業績予想

- ・業績予想サマリー
- ・Domain (事業) 別 売上予想
- ・配当方針

1 2027年5月期(第41期) 第1四半期決算概要

- ・業績サマリー
- ・粗利率改善の背景
- ・Domain (事業) 別 売上&詳細

2 2027年5月期(第41期) 通期業績予想

- ・業績予想サマリー
- ・Domain (事業) 別 売上予想
- ・配当方針

- 【売上】

Q1として過去最高売上高を更新し、前年同期比 **+5.5%** の増収
- 【利益】

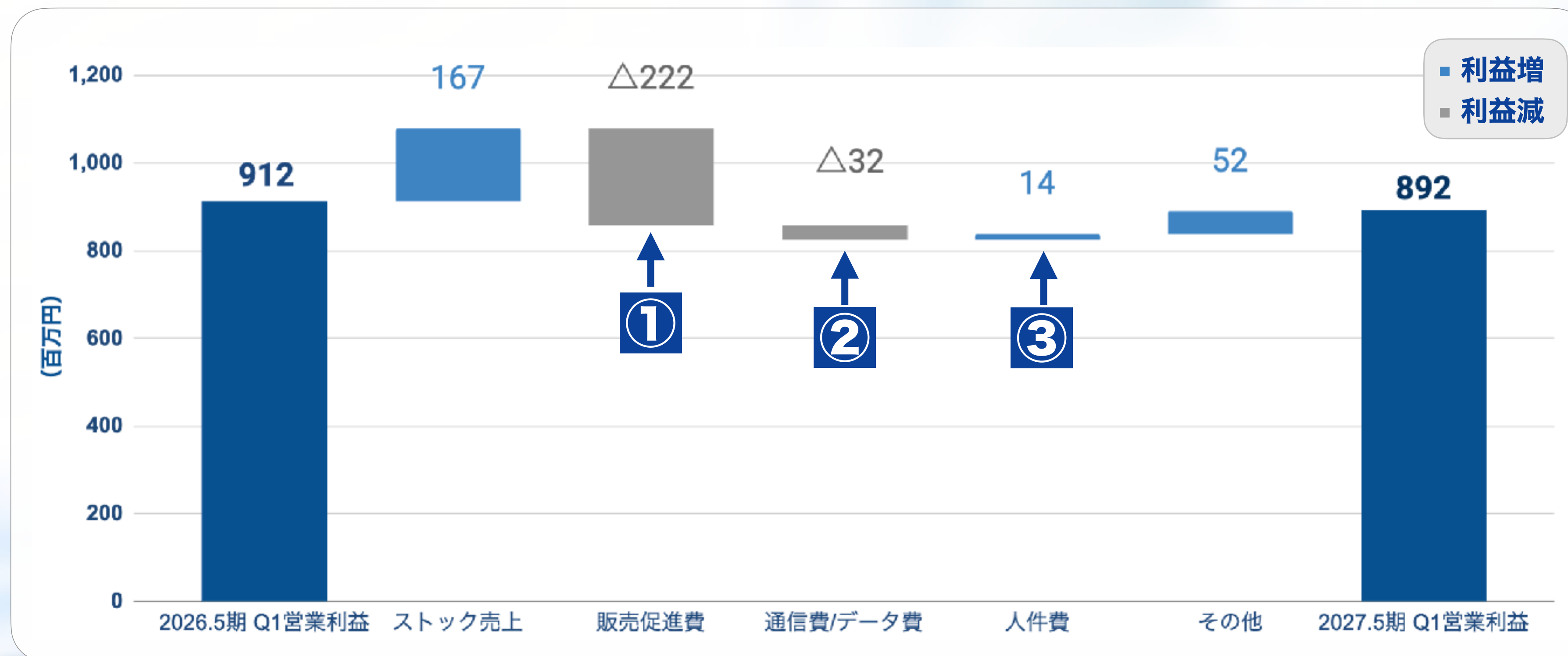
高粗利プロダクトへのシフト・AIを用いた顧客対応業務の自動化の成果で、前年同期比 **+8.6Pt** 増加
- 【営業利益】

積極的な広告投資の増加で減少

単位：百万円	2026.5期 Q1 実績	2027.5期 Q1 実績	前年同期比
売上高	6,006	6,338	+5.5%
売上総利益	2,772	3,470	+25.2%
売上総利益率 (%)	46.2	54.8	+8.6Pt
営業利益	912	892	△2.2%
営業利益率 (%)	15.2	14.1	△1.1Pt
経常利益	915	896	△2.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	672	592	△11.9%
EPS (円)	15.17	13.34	△1.83円
為替 (USD/JPY) (円)	146.33	160.70	+14.37円

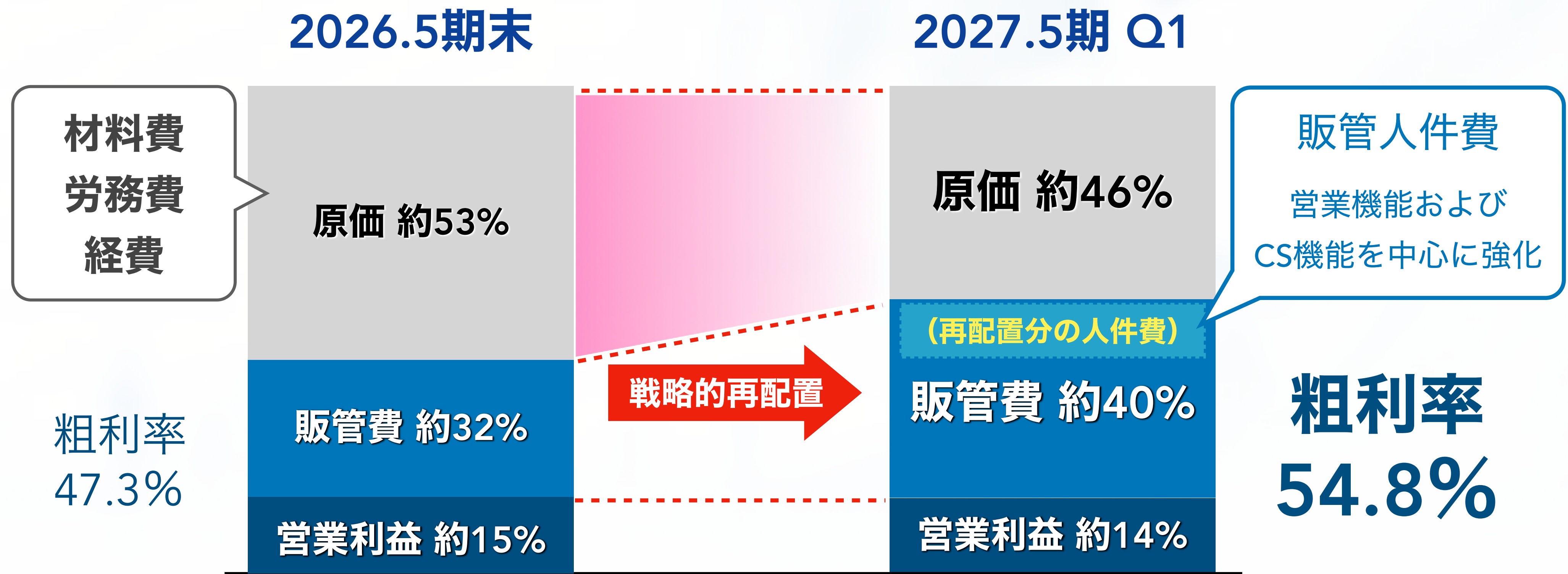
＊EPS：株式分割後の金額を記載しております。（効力発生日：2026年3月1日）

- ① 販売促進費 …… 天候の影響で広告投資を抑制した前年同期からの反動で大きく増加
- ② 通信費／データ費 … AIを前提とした社内の開発および運営環境の整備に伴い増加
- ③ 人件費 …… AIを活用した顧客業務の自動化が前期から継続したことで減少



中期ビジョン目標「2029.5期末に粗利率60%以上」に向けて順調に進捗

- ◆ 高粗利プロダクトへのシフトおよび既存の顧客対応業務のAI自動化で人的リソースの創出
- ◆ 売上高成長の加速のため、営業機能強化に向けた人的リソースの戦略的再配置を実施



単位：百万円	2026.5期 Q1 実績	2027.5期 Q1 実績	前年同期比	事業状況
Sea Domain	1,369	1,478	+7.9%	既存顧客でのアップセルおよび欧州での新規顧客を獲得。 為替影響もあり増収
Sky Domain	360	401	+11.4%	国内ヘリ市場において、既存顧客のサービス導入機体数が 増加したことで増収
Land Domain	1,787	1,928	+7.9%	ウェザーニュース for businessの大型受注、および WxTech dataの拡販が進み増収
Internet Domain	2,278	2,288	+0.4%	Q1のDAUが過去最高を更新し、広告・サブスクともに増収。 キャリア向けサービス等の影響があり全体では微増収
ストック売上 合計	5,796	6,096	+5.2%	-
フロー売上	210	242	+15.4%	(将来のストック売上につながる一時的な調査やシステム販売などの売上)
総計	6,006	6,338	+5.5%	-

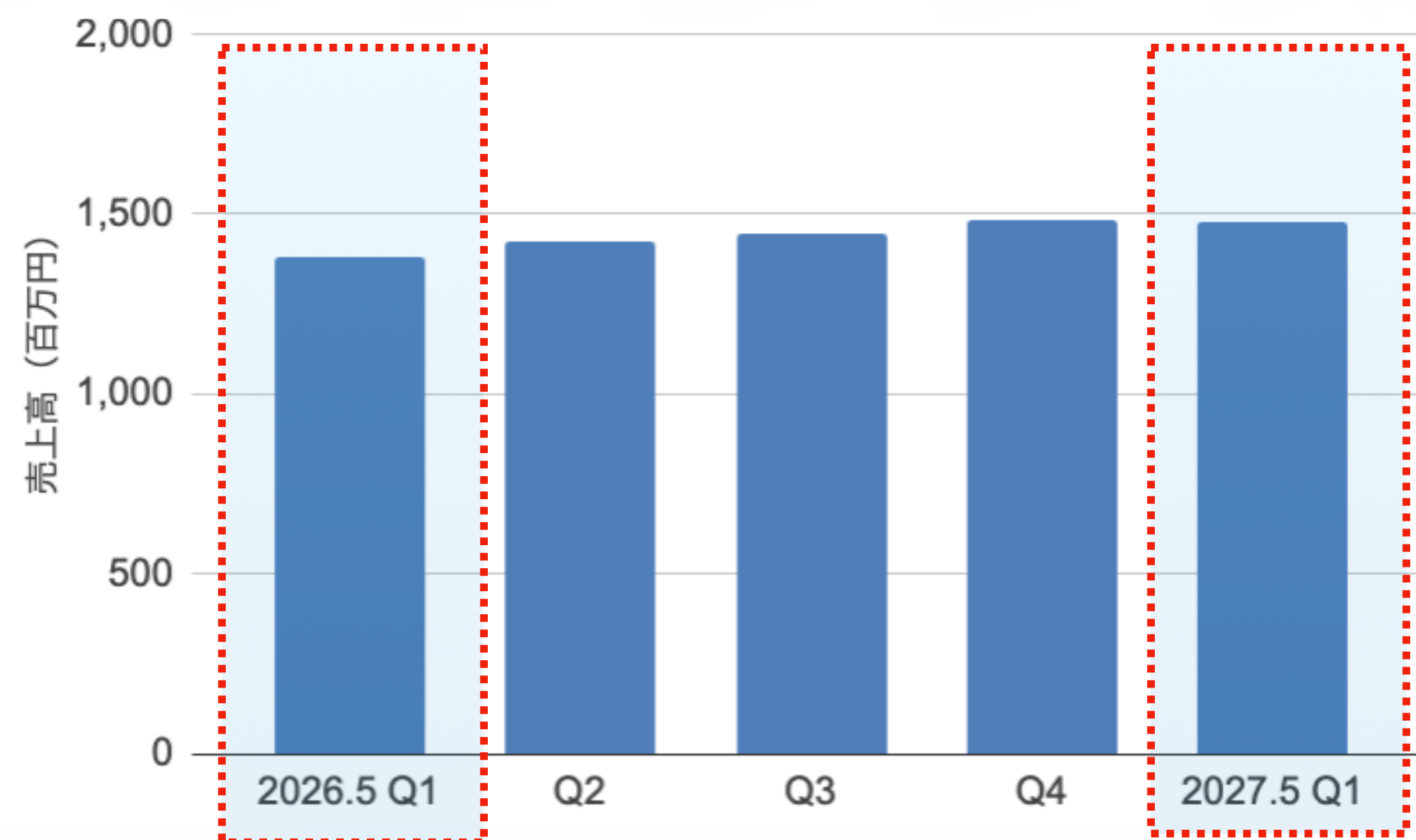
＊ 営業活動のさらなる加速に向けた販売体制の見直しに伴い、2027年5月期初より新区分に基づき組み替えて表示しています。それに伴い、2026年5月期の数値についても遡及修正した数値を掲載しております。主な変更点は以下の通りです。

①Sea Domain：成長ドライバーである外航船向け営業へ注力するため、中小型船の販売をLand Domainへ移管。

②Internet Domain：広告事業に関する販売体制を専任化し、各Domainの関連売上をInternet Domainへ集約。

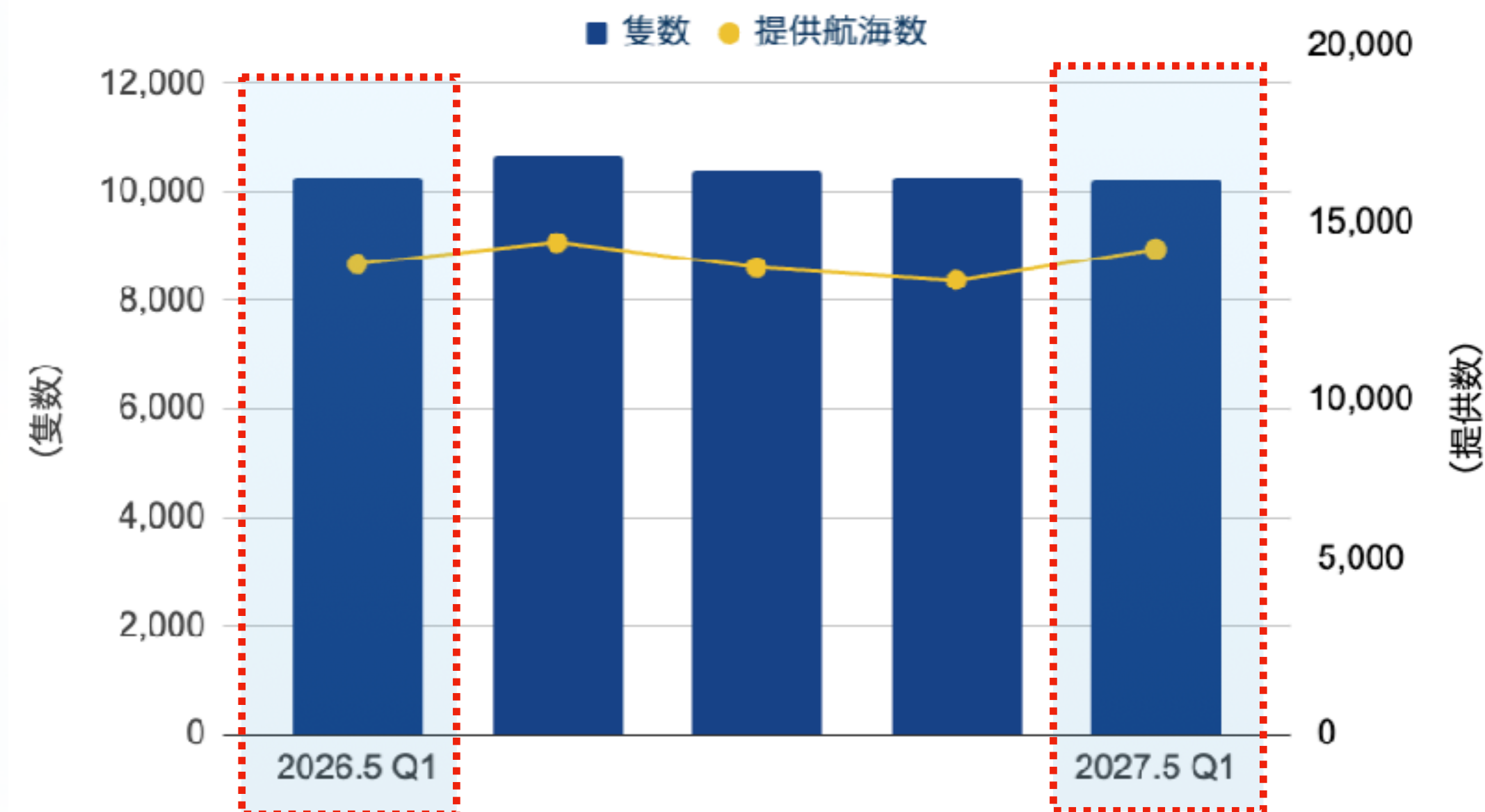
- ◆既存顧客でのアップセルおよび欧州での新規顧客の獲得でサービス提供航海数はYoYで増加
- ◆サービス提供隻数は微減も、おおよそ計画通りに推移
- ◆為替の影響もありYoYで7.9%増収

売上高 四半期推移



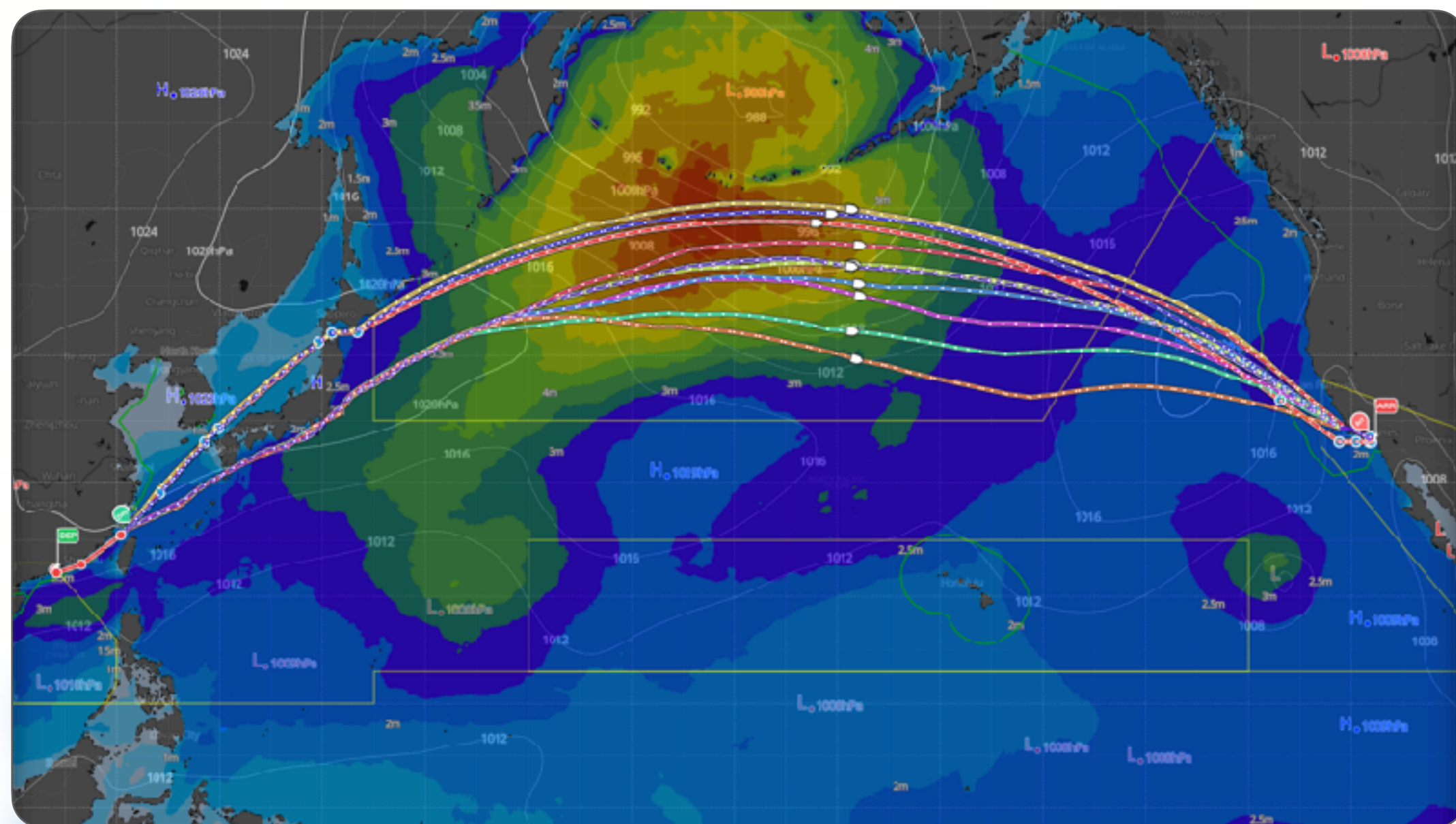
＊ 販売体制の見直しに基づき2027年5月期初より中小型船向けサービスをLand Domainへ移管しております。それに伴いグラフ上の売上区分を変更しております。(2026.5期分も遡及修正しております)

サービス提供隻数およびサービス提供航海数の推移

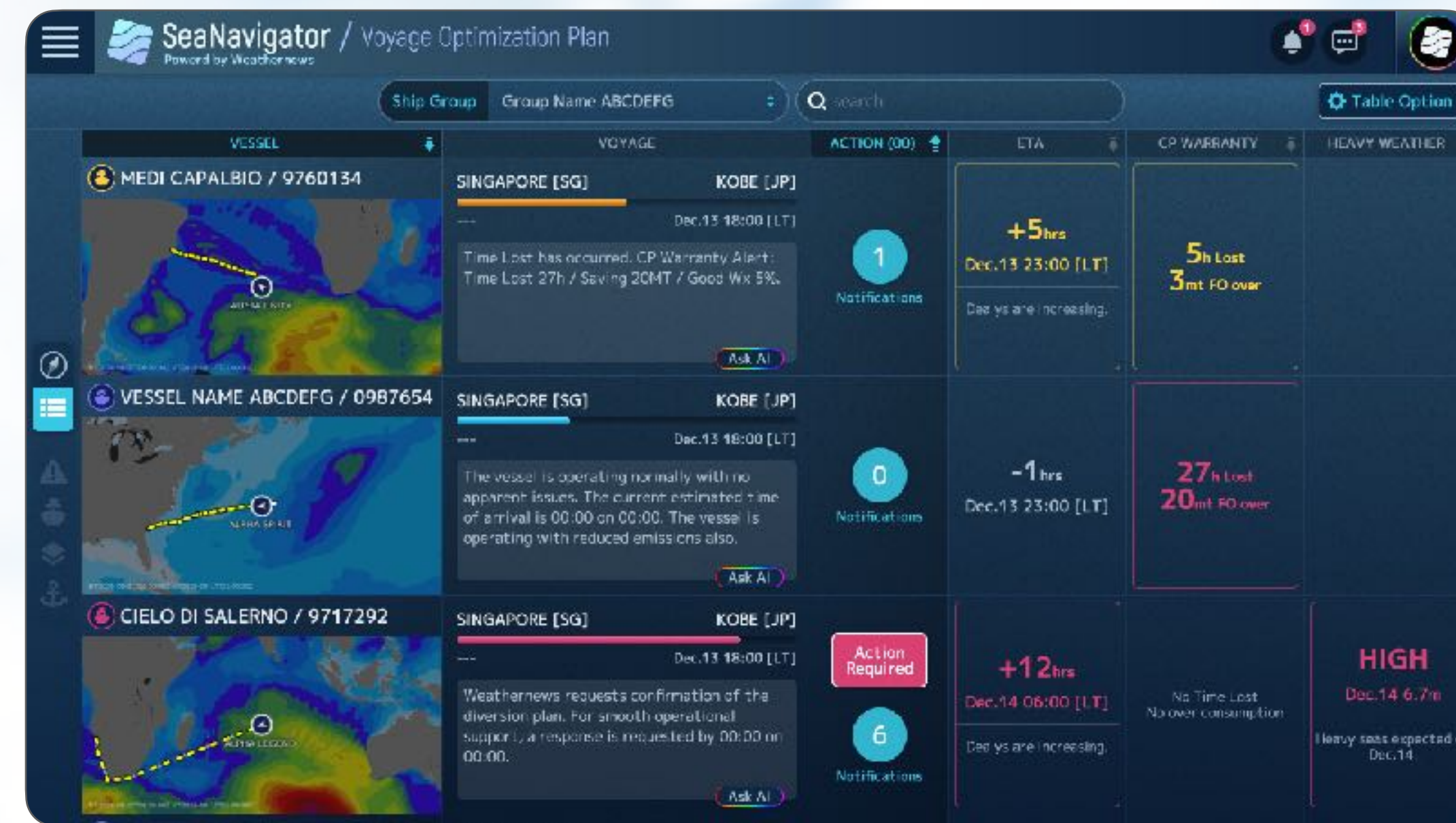


＊ 販売体制の見直しに基づき、2027年5月期初より中小型船向けサービスをLand Domainへ移管しております。それに伴いサービス提供隻数において小型船舶等の隻数を除外しております。(2026.5期分も遡及修正しております)

スポットから常時提供型サービスへの変革 全船通年採用化で今期後半から売上成長は加速フェーズへ



主要海運顧客8社との試験運用を10月より開始
正式リリースは12月中を予定



船団全体の航海リスクをAIが常時把握
問題船の抽出から本船への対応指示まで
運航業務を一気通貫で強力に支援

◆航空気象向けプロダクト “SkyAviators” が世界14,000空港の予報に対応

◆国内ドローン市場の安全運航を支える新たなデータサービスの開始

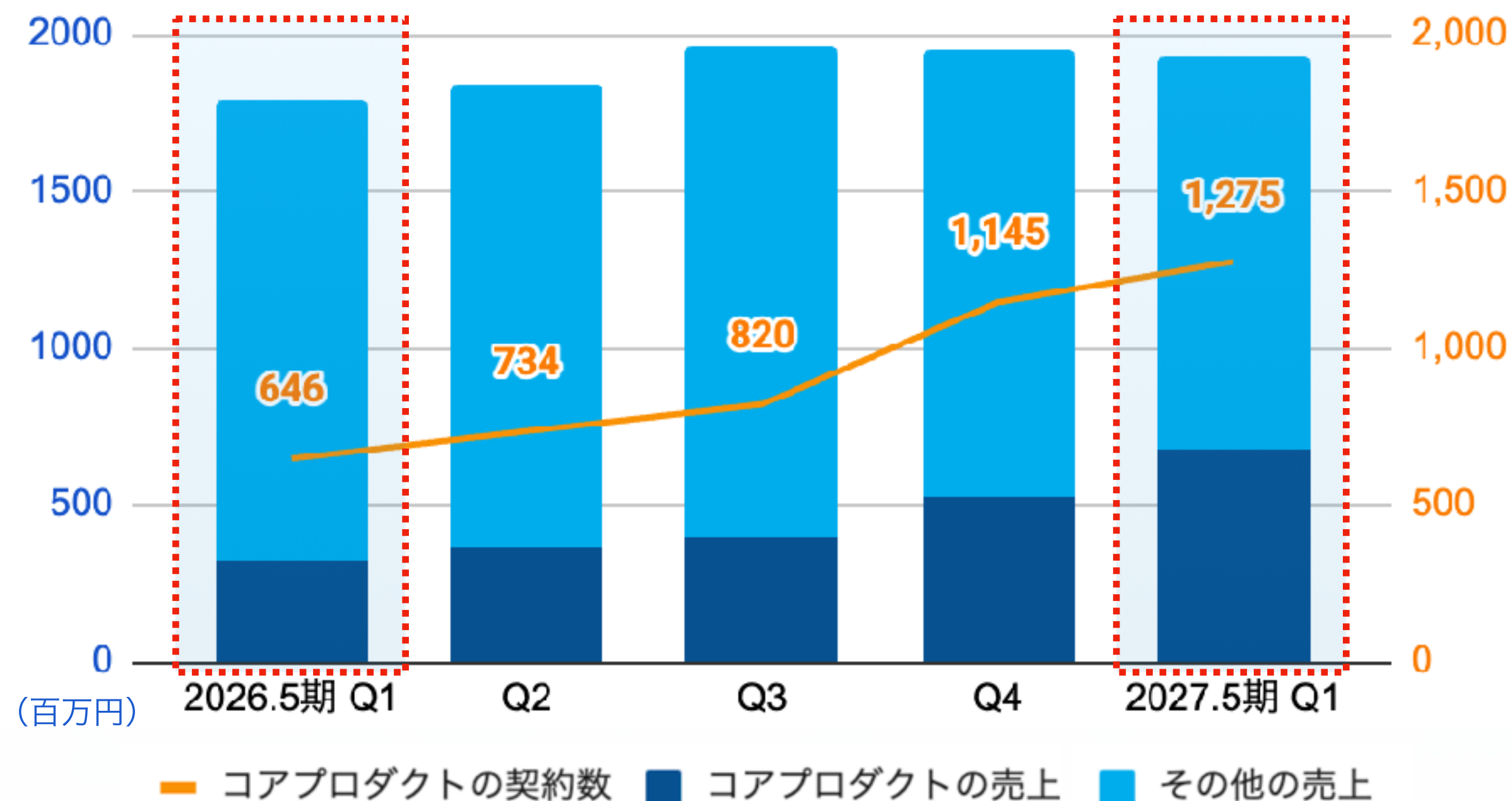


◆売上高はQ1で過去最高を更新

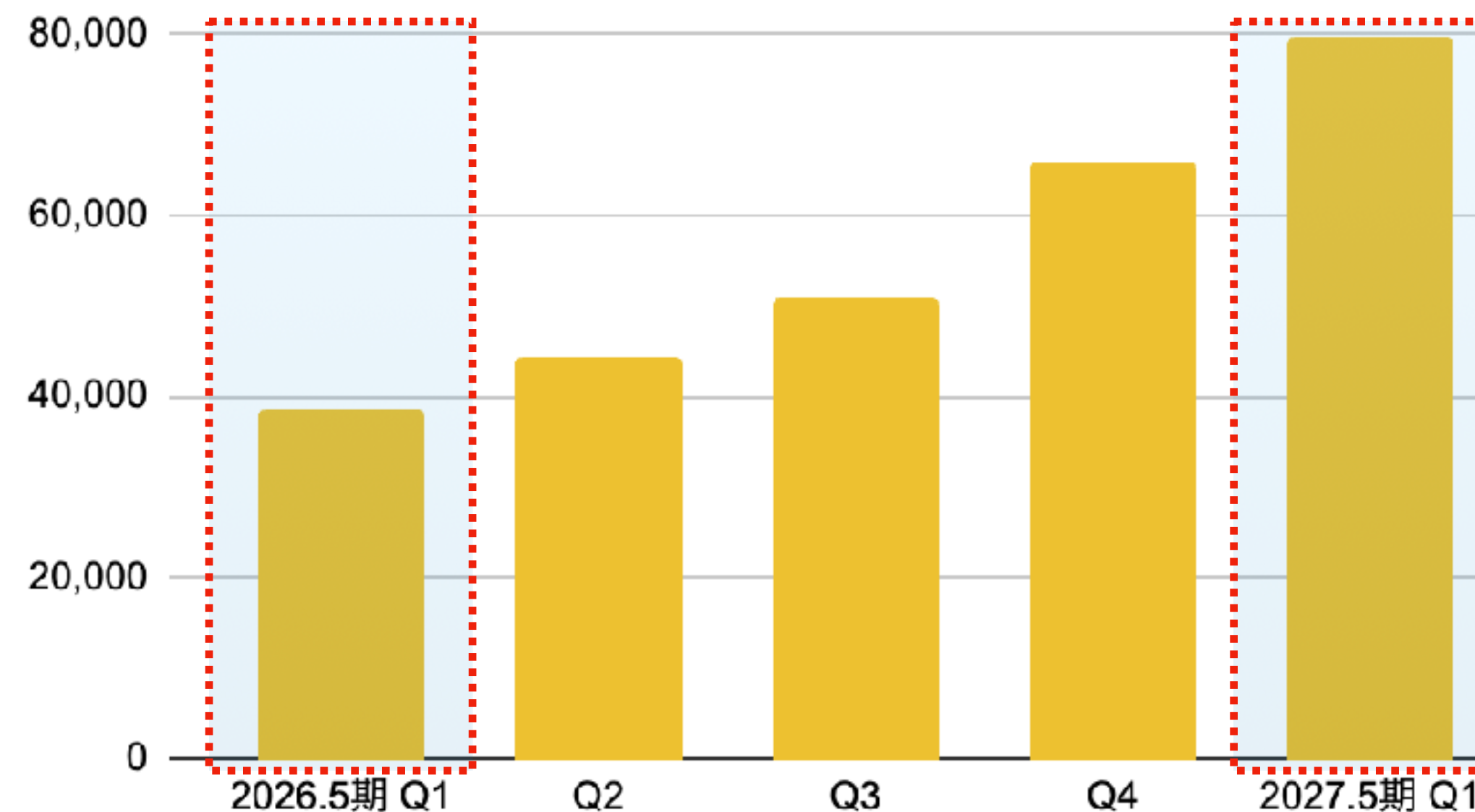
◆Landコアプロダクトの契約数はYoYで倍増

◆ウェザーニュース for businessの導入が進み、コアプロダクトのID数も順調に増加

Landの売上高・コアプロダクトの契約数の推移



コアプロダクトのID数の推移

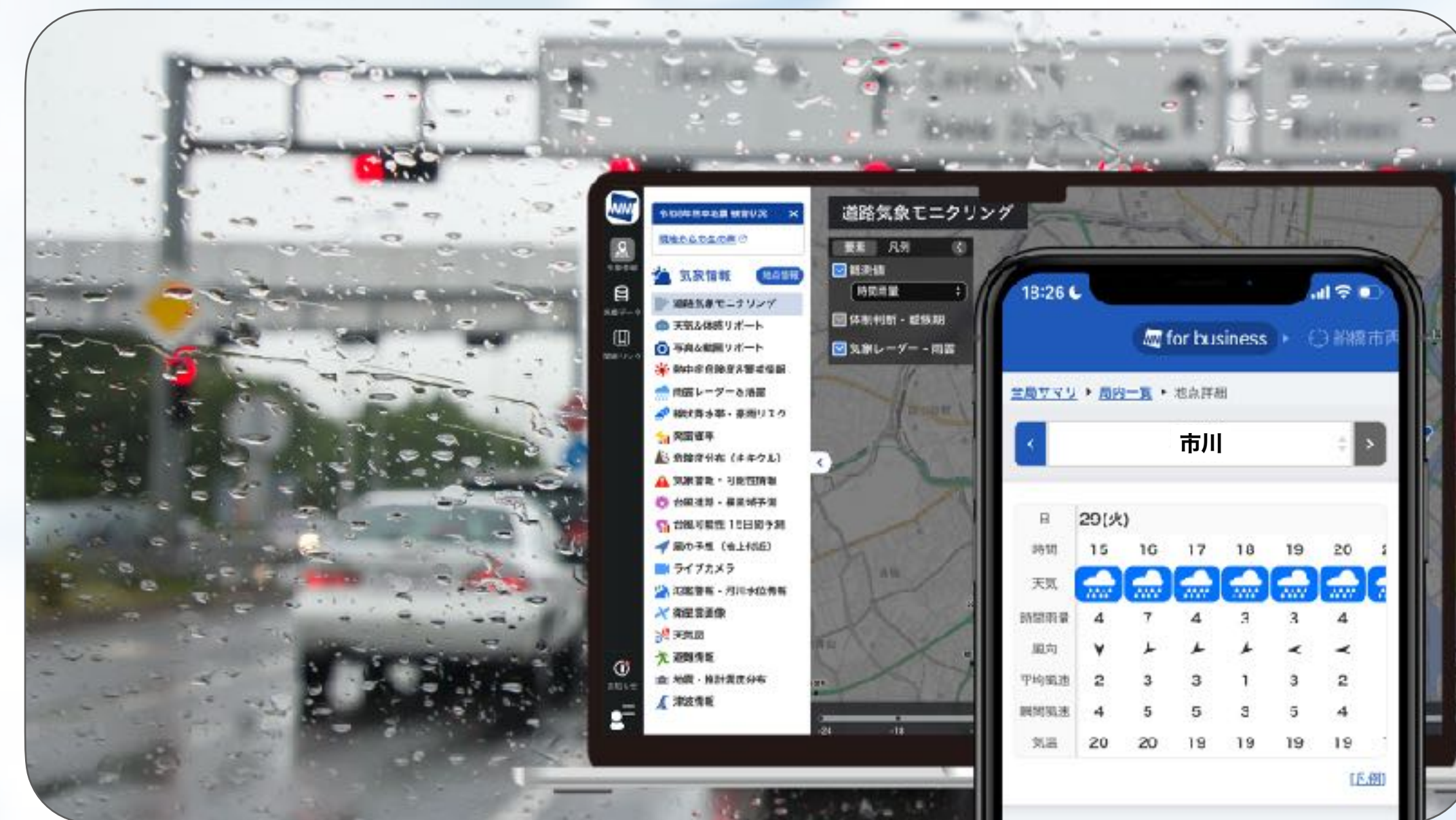


注)一時的な大型受注は除く

激甚化する気象災害を背景に広域・多拠点の防災管理のニーズが高まり ウェザーニュース for businessの利用が拡大



第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会
45の国と地域から集う関係者(約4万人)へ気象支援を実施

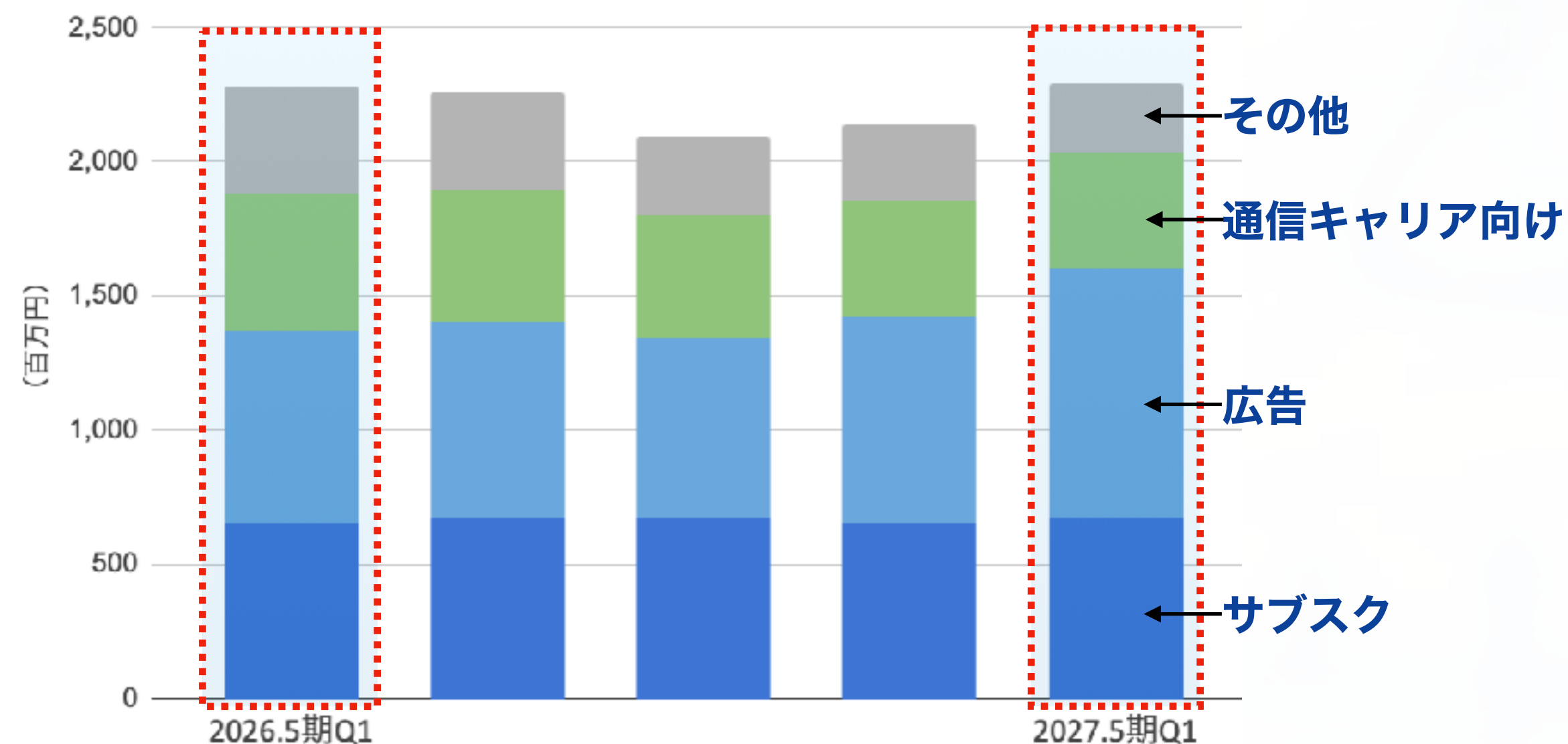


道路向け「ウェザーニュース for business」をリリース
道路市場でコアプロダクトを利用開始

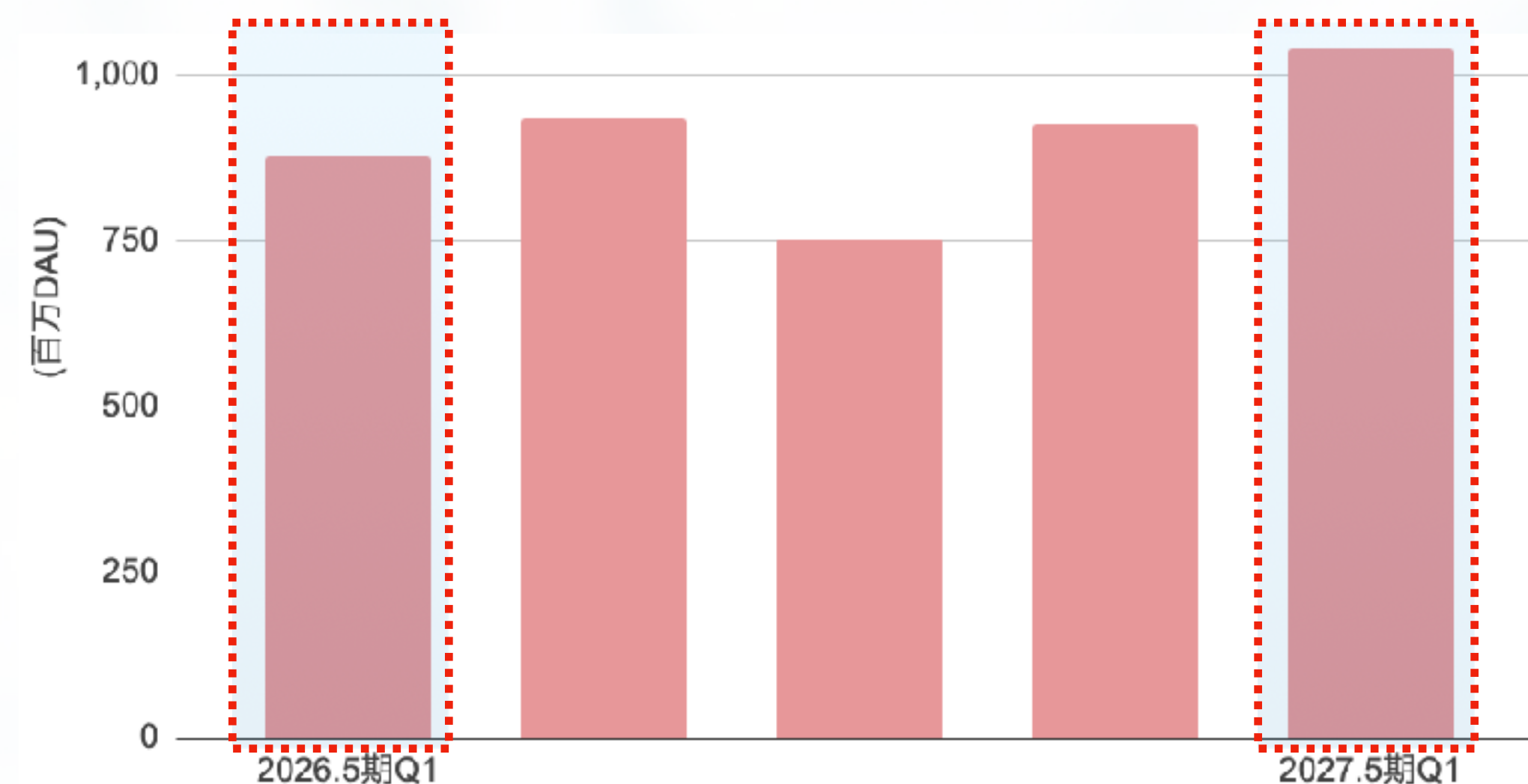
◆線状降水帯や台風などの発生も背景に、Q1累積DAUは過去初めて10億を突破
(YoY+18%)

◆キャリア向け売上の減少が続くも、DAU成長に伴い広告・サブスクが増収

売上高 四半期推移



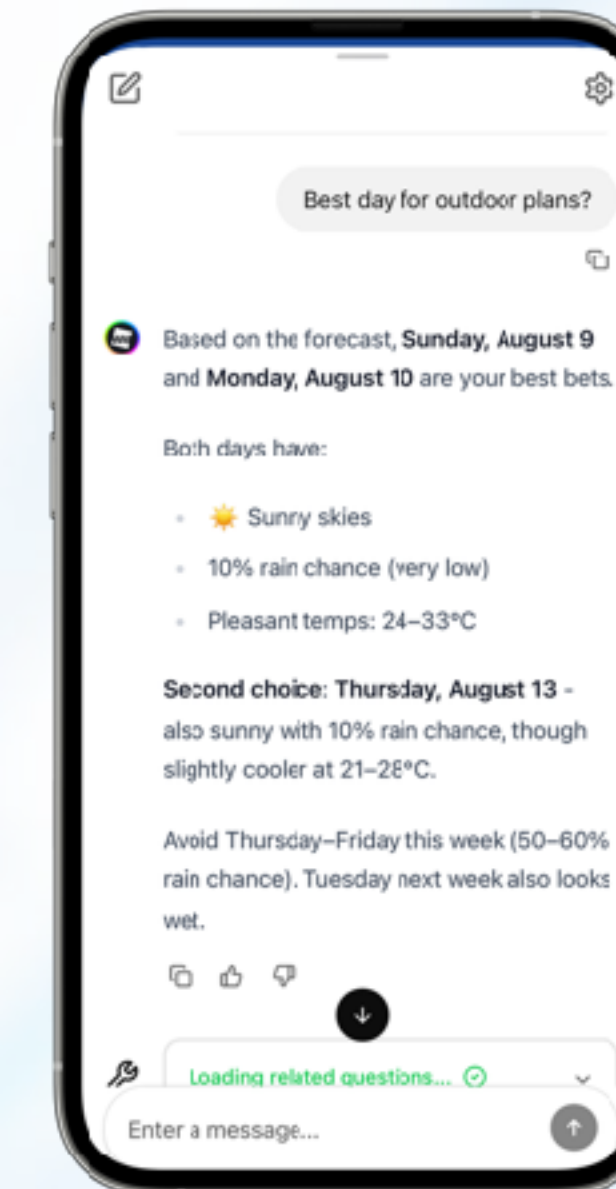
累積DAU 四半期推移



※ 注力領域の明確化のため、サブスク売上はスマートフォン向け売上に限定し、サブスク売上に含めていた旧キャリア向けサブスクサービス売上などは通信キャリア向け売上に移管しております。それに伴い2026.5期分も遡及修正しております。

お天気アプリ「ウェザーニュース」がグローバルで提供開始

- ◆ 世界最高水準の予測精度で、全世界を「1kmメッシュ」の高解像度で予報
- ◆ 警報データの人口カバー率は全世界の98%



防災先進国である日本で培ったノウハウに加え、世界中のユーザーから寄せられる生の実況データ「ウェザーリポート」や独自の気象AIおよび最先端の解析技術を融合した高精度の予報を世界中で提供可能に。

気象災害の損害額を即時算出する “ROI Generator”

生成AIで気象による財務インパクトを算出 / 企業・自治体の気候変動対策への投資を推進

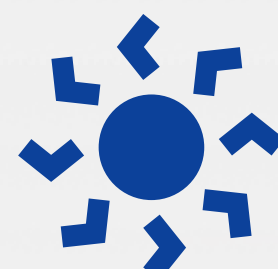
INPUT



台風



大雨



猛暑



ウェザー
リポート



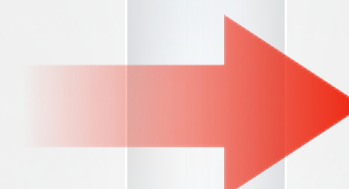
過去災害
公表情報



拠点・操業・BCP・対策コスト など



...



ROI Generator



気象リスクに伴う被害や損失を
「金額」に変換し費用対効果を算出

① 損失リスク定量化



② 軽減可能額算定



③ 費用対効果算定



- <事例>
- ・千葉豪雨による経済的影響は約4.3～12.9億円と被害翌日に推計
 - ・2026年6月以降の欧州熱波は、経済損失が最大約24兆円（約1,330億ユーロ）と試算

2027年5月期(第41期) 第1四半期決算概要

- ・業績サマリー
- ・粗利率改善の背景
- ・Domain (事業) 別 売上&詳細

2027年5月期(第41期) 通期業績予想

- ・業績予想サマリー
- ・Domain (事業) 別 売上予想
- ・配当方針

【売上】 25,800百万円（前期比5.4%増）

18期連続の増収を計画

【営業利益】 5,400百万円（前期比3.0%増）

将来の売上高成長のための投資を強化しつつ、利益水準を維持

単位：百万円	2026.5期 実績	2027.5期 計画	前期比
売上高	24,479	25,800	+5.4%
営業利益	5,244	5,400	+3.0%
営業利益率 (%)	21.4	20.9	△0.5Pt
経常利益	5,456	5,500	+0.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,806	3,850	+1.1%
EPS (円)	85.76	85.78	+0.02円
ROE (%)	16.8	16.1	△0.7Pt
為替 (USD/JPY) (円)	153.14	150.00	△3.14円

＊EPS：株式分割後の金額を記載しております。（効力発生日：2026年3月1日）

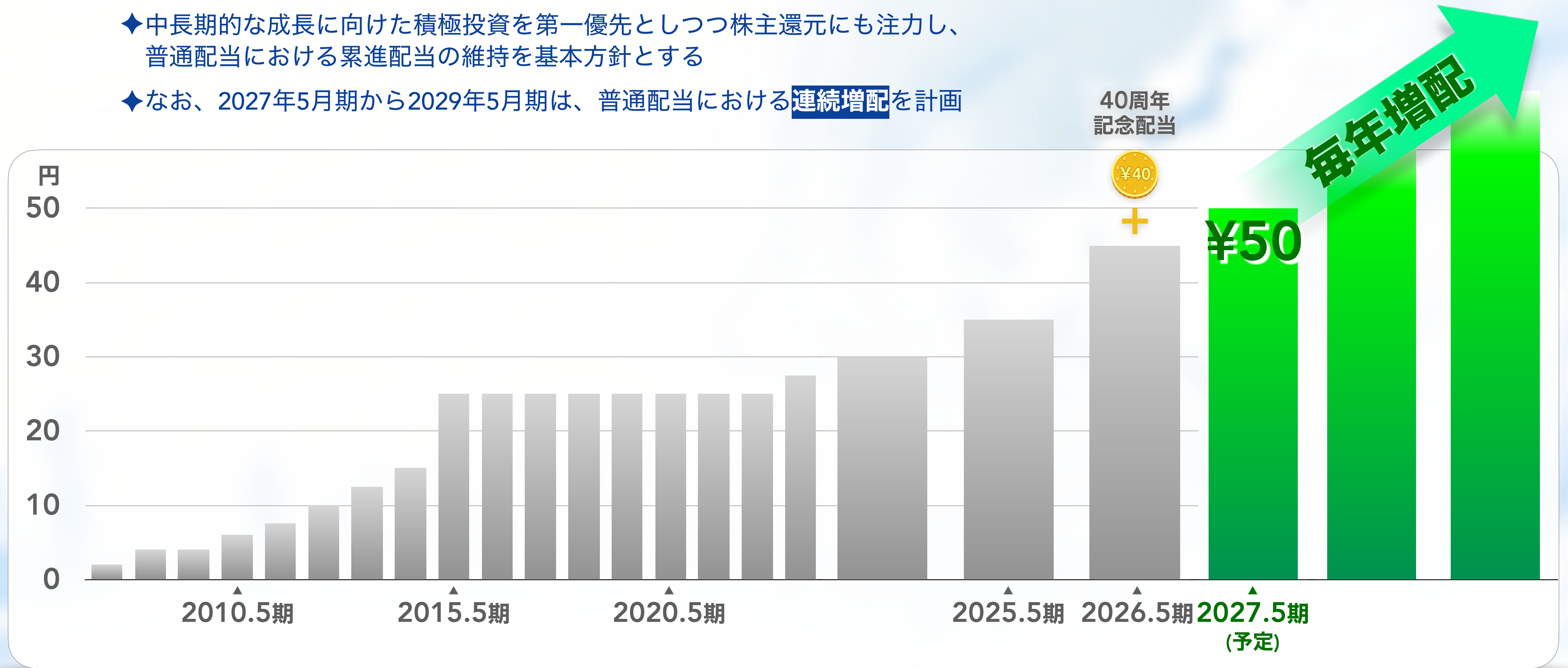
単位：百万円	2026.5期 実績	2027.5期 計画	前期比	成長戦略
Sea Domain	5,731	6,000	+4.7%	「SeaNavigator」のバージョンアップによる、スポットから常時提供型サービスへの変革
Sky Domain	1,522	1,650	+8.4%	「SkyAviators」をアジアのエアライン市場で拡販
Land Domain	7,535	8,100	+7.5%	プロダクトは導入期から本格的な普及期へと移行。マーケティングを強化し、さらなる市場拡大に注力。
Internet Domain	8,764	9,150	+4.4%	気象メディアとしての圧倒的ポジションを確立し、サブスク・広告収益を拡大
ストック売上 合計	23,554	24,900	+5.7%	-
フロー売上	925	900	△2.7%	-
総計	24,479	25,800	+5.4%	-

＊営業活動のさらなる加速に向けた販売体制の見直しに伴い、2026年5月期実績値について新区分に基づき組み替えて表示しています。主な変更点は以下の通りです。

- ① Sea Domain：成長ドライバーである外航船向け営業へ注力するため、中小型船の販売をLand Domainへ移管。
- ② Internet Domain：広告事業に関する販売体制を専任化し、各Domainの関連売上をInternet Domainへ集約。

【2027年5月期】 普通配当を**5円増配**し、1株当たりの年間配当は**50円**を予定

- ◆中長期的な成長に向けた積極投資を第一優先としつつ株主還元にも注力し、普通配当における累進配当の維持を基本方針とする
- ◆なお、2027年5月期から2029年5月期は、普通配当における**連続増配**を計画

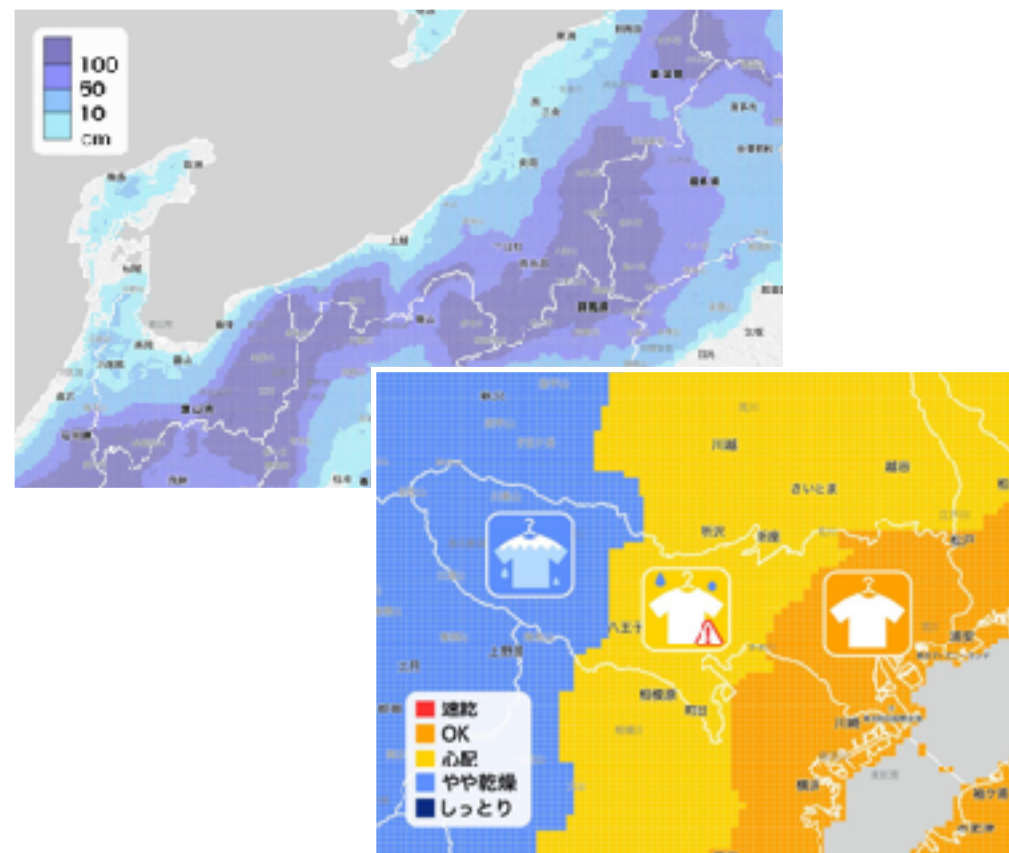




Appendix



WxTech Data



天気予報、過去の天気データはもちろん、地震や津波、火山などの災害リスクに関するデータ、また、桜の開花予測や花粉の飛散量、熱中症、紫外線、天気痛など、人の生活や健康に関連するデータなど、自然現象にまつわるあらゆるデータを提供。

(価格：月額30,000円～)

ウェザーニュース for business



アプリ「ウェザーニュース」にお客様のビジネスに必要なお天気ページを追加。施設や店舗、営業所を地点登録することで、ビジネスの意思決定に関わるプッシュ通知をピンポイントで受け取ることができます。

(価格：月額29,400円～)

ソラテナPro



小型、軽量、省電力のIoTセンサーで現場の気象が見える化。企業の安全対策や生産性向上、マーケティング施策や分析を強力にサポートします。

(価格：月額25,000円～)
※レンタルの場合



Data

創業以来蓄積してきた膨大な
気象データ・ビジネスデータ

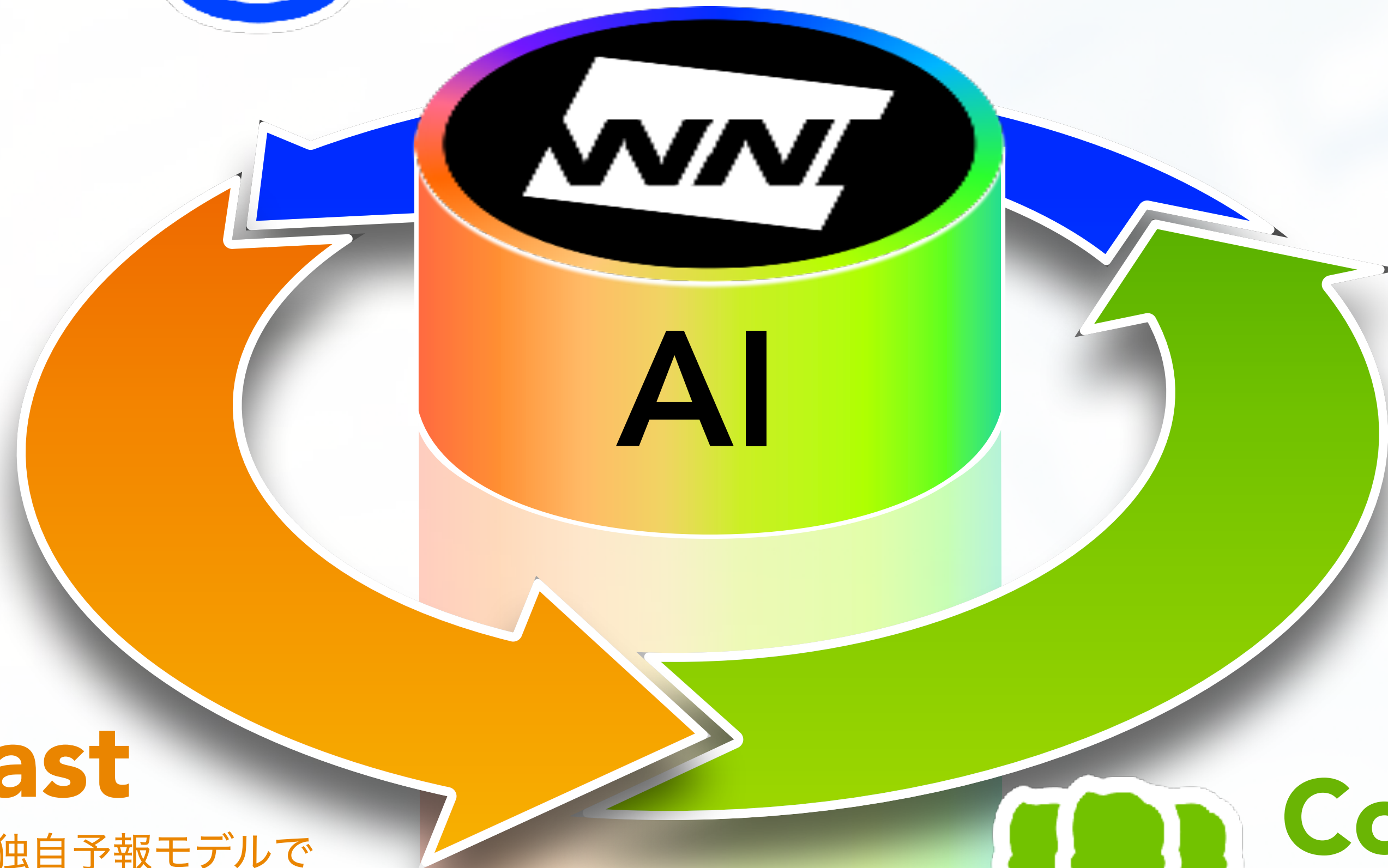
引き続き世界中の気象局や個人・企業など
多くのサポーターと協力し、世界最大の気
象/環境データベースを充実させます。

これまで蓄積したノウハウを
活用し、大量のデータと最新
のAI技術を組み合わせ、業界
No1の予報を提供し続けます。



Forecast

豊富なデータと独自予報モデルで
業界No.1の予報を提供

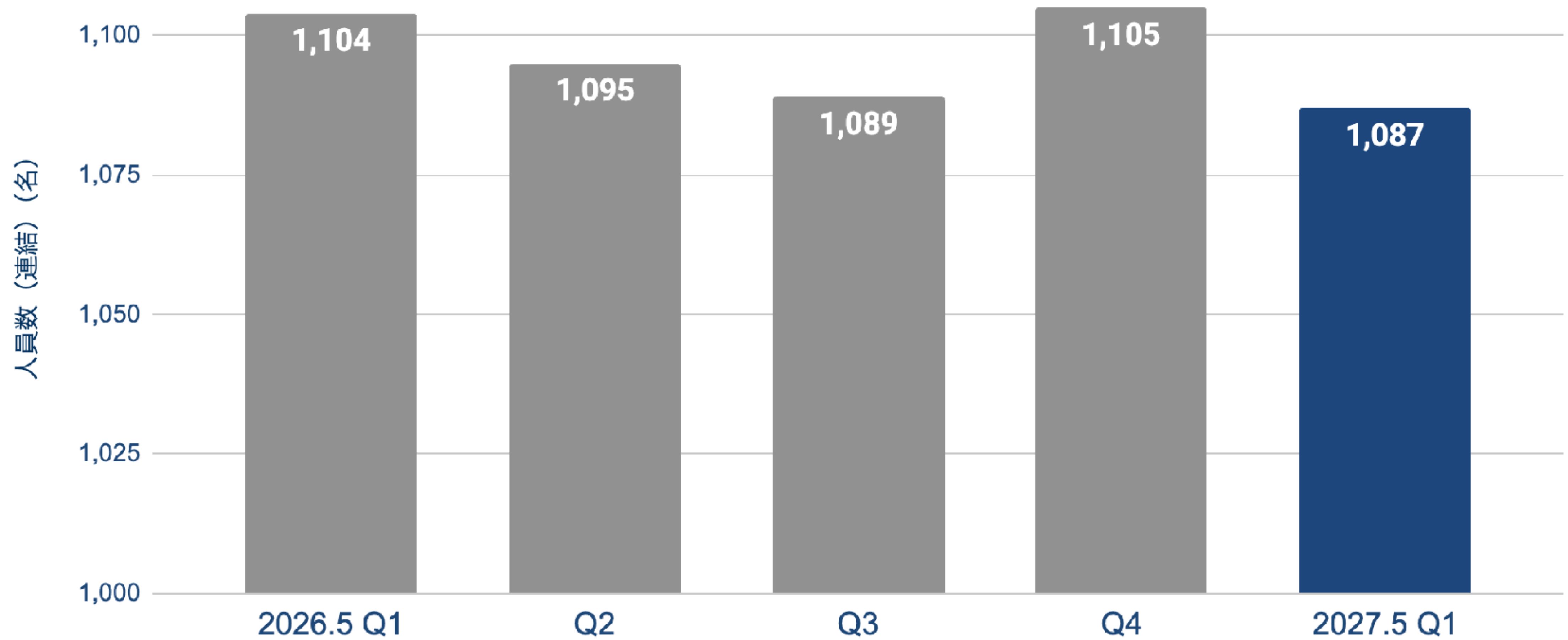


各コミュニティの意見を積極
的に取り入れながら、各々が抱
える安全性・経済性・環境性の
最適化に対応するため、豊富な
データと予測技術を駆使し、そ
の水先案内役を目指します。



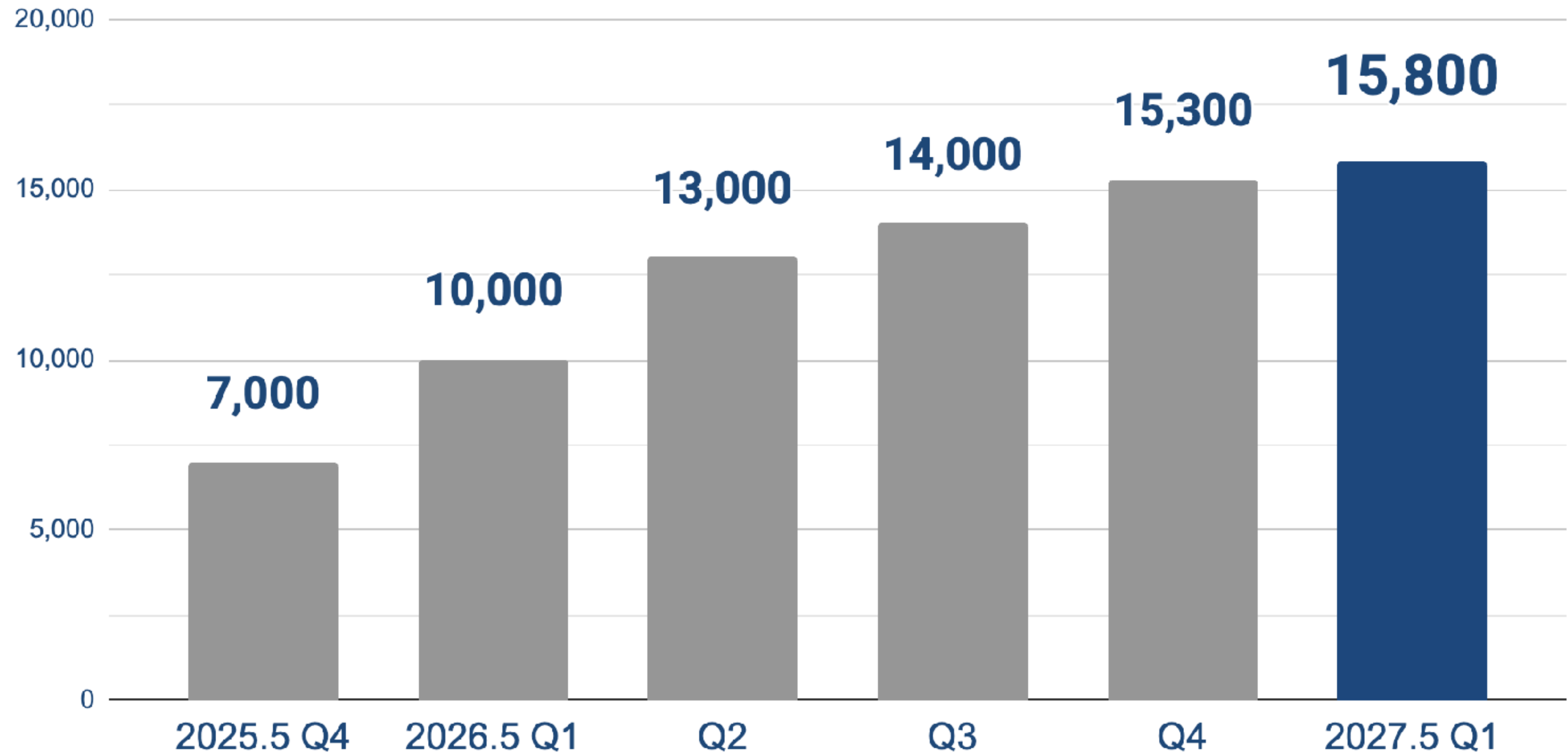
Community

個人・法人サポーターの
コミュニティから生まれる新たなデータ



顧客対応業務のAI化を継続して実施。累計*削減時間は15,800時間/月まで到達

*2025.5期初（2024年6月）からの累計

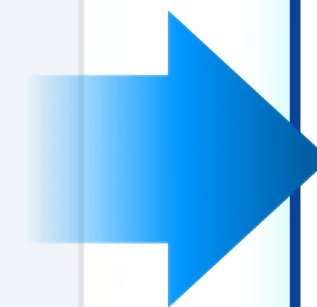


第二創業期は、事業をスケールし、売上を急拡大するフェーズ

向こう3年間で、持続的な高い売上成長軌道の確立と、粗利益率（売上総利益率）の最大化を図る

前・中期経営計画

売上高 **260** 億円以上
営業利益 **20** %以上
ROE **15** %以上



中期Vision 2026

2029.5期 売上高成長率 **10** %以上

売上高総利益率 **60** %以上

2027.5期～2029.5期

普通配当の**3** 力年連続増配

原価に掛かるオペレーション業務のAI自動化と高粗利プロダクトへのシフトで 3年間で粗利益率+12.7pt以上の改善を見込む

【1】 顧客対応業務の完全自動化

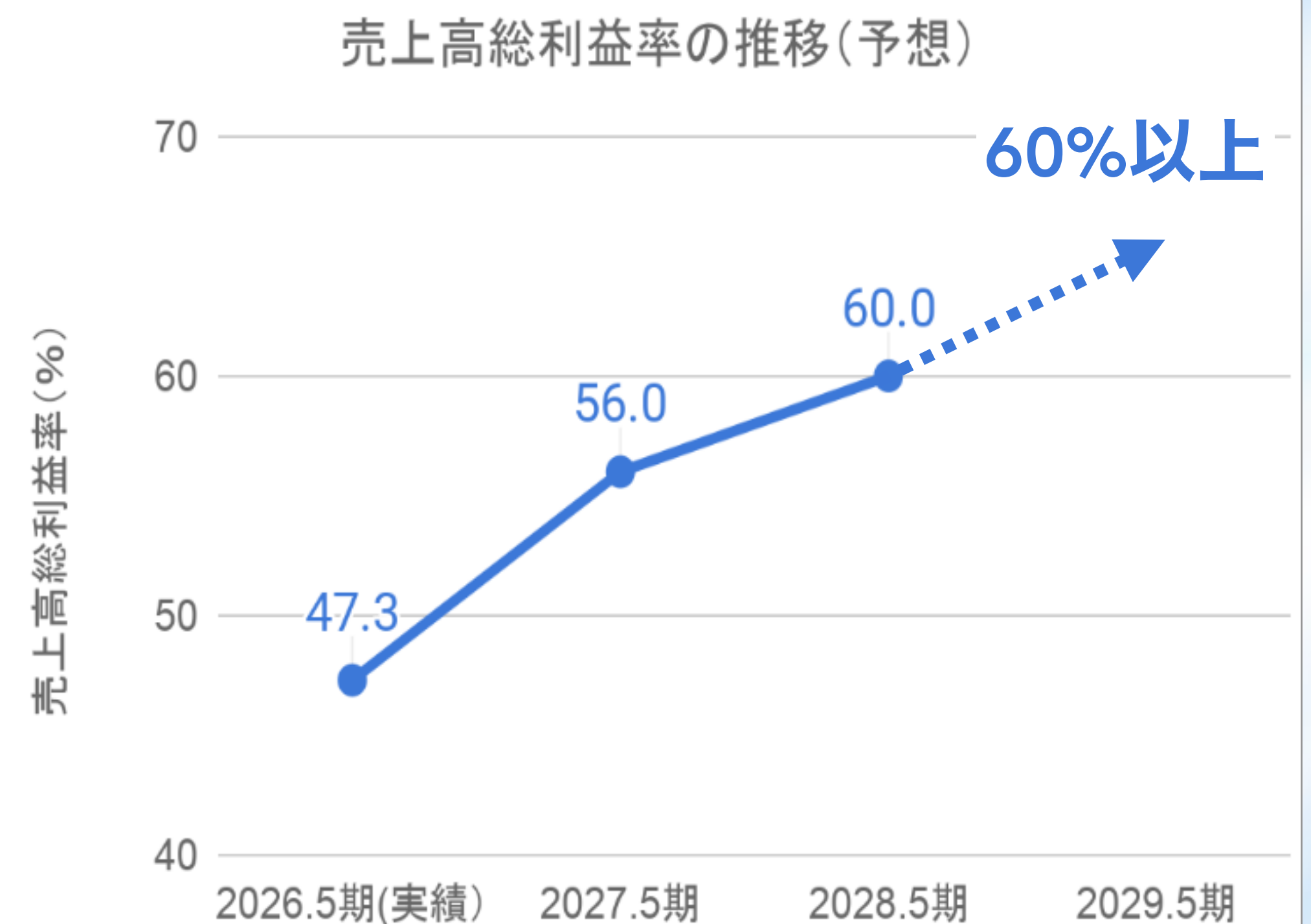
- 既存の顧客対応業務を全てAIで代替し労務費を大幅削減
- 労務費の削減幅がAIコスト増を大幅に上回る見込み

【2】 高粗利プロダクトの集中販売

- 開発・営業リソースを高粗利の主力プロダクトに集中
- 既存顧客との契約も高粗利プロダクトへ順次シフト

各Domainの主力プロダクト

- Sea : SeaNavigator
- Sky : SkyAviators
- Land : ウェザーニュース for business
- Internet : ウェザーニュースアプリ



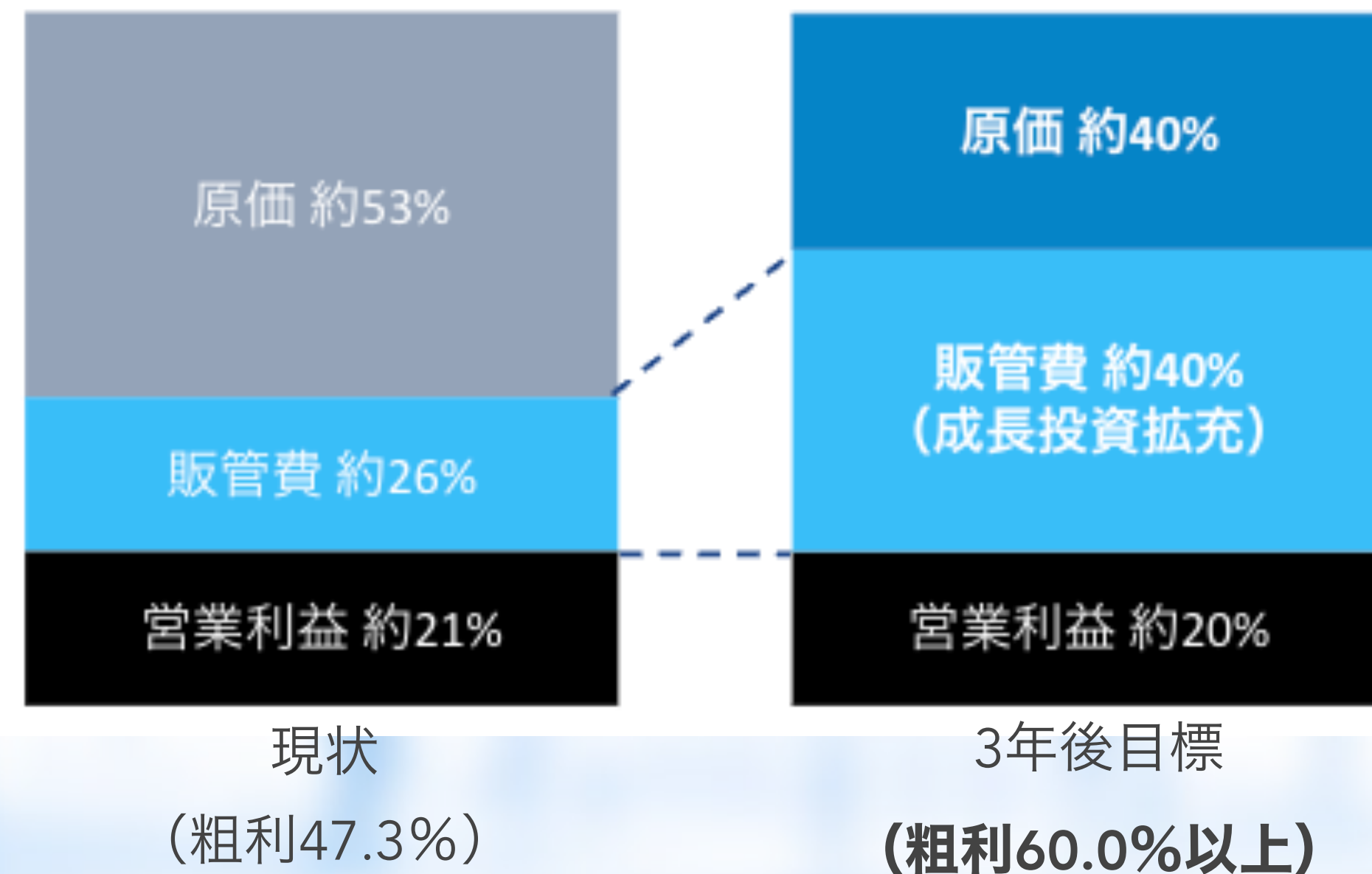
リストラなしの
生産性改革

顧客対応業務の自動化で発生した余剰人員は、カスタマーサクセス（CS）および営業へ戦略的配置転換
新規獲得と解約率低下を加速させ、さらなる売上成長の原動力の役割を担う

粗利改善で生み出した原資は成長投資へ最適配分 トップライン成長を最優先としつつ、営業利益率20%水準は維持

PL構造のBefore/After想定比較

(売上高=100%とした構成比)



■ 売上原価 ■ 販管費 (人件費・マーケティング費用等) ■ 営業利益 (20%水準)

Q：粗利率が12pt以上改善する一方で
営業利益率20%で横ばいの理由は？

- 粗利改善で獲得した資金を「トップライン成長の再投資原資」として活用するためです
- カスタマーサクセス・営業等の人件費増加に加え、顧客の新規獲得に向けたマーケティング投資を強化します

Q：マーケティング投資拡大による
利益下振れリスクはないか？

- マーケティング投資は費用対効果を厳密に検証して実施し、投資効率が見合わない場合は投資抑制の上、株主還元の実施も検討します
- 実施状況や規律ある運用に伴い営業利益率が20%を超えて上振れる可能性もあります

単位：百万円	2026.5期 Q1 実績	2026.5期 実績	2027.5期 Q1 実績
流動資産	21,833	24,696	21,264
固定資産	3,423	3,562	4,360
資産合計	25,257	28,259	25,625
流動負債	3,081	3,855	3,396
固定負債	630	509	481
負債合計	3,711	4,365	3,878
純資産合計	21,545	23,893	21,747
自己資本比率 (%)	85.2	84.5	84.8
1株あたり純資産 (円)	485.30	537.37	488.99

＊ 1株あたり純資産：株式分割後の金額を記載しております。（効力発生日：2026年3月1日）

単位：百万円	2026.5期				2027.5期
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
売上高	6,006	6,126	6,132	6,213	6,338
売上総利益	2,772	2,895	2,895	3,022	3,470
売上総利益率 (%)	46.2	47.3	47.2	48.6	54.8
営業利益	912	1,356	1,507	1,468	892
営業利益率 (%)	15.2	22.1	24.6	23.6	14.1
経常利益	915	1,408	1,639	1,493	896
親会社株主に帰属する 四半期純利益	672	965	1,134	1,033	592
EPS (円)	15.17	21.75	25.53	23.27	13.34
為替 (USD/JPY) (円)	146.33	151.50	155.95	158.80	160.70

＊EPS：株式分割後の金額を記載しております。（効力発生日：2026年3月1日）

単位：百万円	2026.5期				2027.5期
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
Sea Domain	1,369	1,429	1,451	1,480	1,478
Sky Domain	360	382	385	394	401
Land Domain	1,787	1,838	1,963	1,946	1,928
Internet Domain	2,278	2,255	2,095	2,134	2,288
ストック売上 合計	5,796	5,905	5,896	5,955	6,096
フロー売上	210	221	235	258	242
総計	6,006	6,126	6,132	6,213	6,338

＊営業活動のさらなる加速に向けた販売体制の見直しに伴い、2026年5月期実績値について新区分に基づき組み替えて表示しています。それに伴い、2026年5月期の数値についても遡及修正した数値を掲載しております。主な変更点は以下の通りです。

① Sea Domain：成長ドライバーである外航船向け営業へ注力するため、中小型船の販売をLand Domainへ移管。

② Internet Domain：広告事業に関する販売体制を専任化し、各Domainの関連売上をInternet Domainへ集約。



注意事項

- ◆ 当社は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、本資料を作成しておりますが、
- ◆ 本資料の正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。
- ◆ また、業績予想など将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、
- ◆ 実際の業績は様々なリスクや不確定な要素などの要因により異なる場合があります。